



歴史の痕跡を建つ。ホテルの外観、近くにトラムの駅もあり、都心へのアクセスもよい。



左/ランドピアノを置くくつろぎルーム。中/8人用ベッドの豪華寝台「サウナーム」。右/食料にもこだわったレストランバー。

LLOYD HOTEL & CULTURAL EMBASSY

【ロイドホテル】
 古くから「ロイドホテル」
 Dooelhof Herengracht 34, 1013 EN Amsterdam
 電話: +31 (0)20 561 3006
 www.loydhotel.com
 歴史ある建物を活用し、アムステルダムを代表するデザインホテル。改修の過程で残ったのはオランダの人民建築ユニットMVRDV、リチャード・ハッテンが手がけたレストランバーをはじめとして、著名なオランダ人デザイナーや建築家がホテル内をデザイン。パブリックスペースには、ドミトリーや本館を置き、様々なゲスト同士が交流できるエリアがつけられているのも特徴的。

約50人のアーティストが参加したダッチデザインのシヨークケース。

デザインを介した文化の交流基地。

ダッチデザインに惹きつけられたホテルがアムステルダムにある。再開発によってモダンに再生した東部地区の入り口に立つ「ロイドホテル」は、1921年建設の古い建物。当初は東欧から南米に渡る移民の宿泊施設として、また政治犯や難民の拘留所としても使用されていた。近年は打ち捨てられていたが、「様々な人が出会い、文化交流を促進する」ことを目的にホテルとして生まれ変わった。

スウェーデン、約50人のオランダ人デザイナーやアーティストが手掛けている。リチャード・ハッテン、アトリエ・ファン・リースハウト、ヘラ・ヨングレリウスなど、家に坐すを嫌う。かつての建物を生かした屋敷裏の客室あり、8人用ベッドや個室の中央にバスタブを据えた客室ありと、シンプルかつ明快、そして自由なダッチデザインの魅力を体感できる。

また近年、「フードデザイン」という考え方も盛んだ。その代表的な店が、新外れの住宅街にある「カリナリー・ウエルクブラーツ」。オーガニックの野菜や果物を主体に、テーマに基づいた料理を提供している。店中央には大きなアイアンキッチン。アトリエのような雰囲気のなか、アーティストイックな料理やアパレルデザイナー、そこに込められた意味に思いを馳せつつ食を楽しむのだ。メニューには金額が明記されていない。食事の価格は、ゲストがその満足度によって決めていい。そんな自由な店もこの街らしい。

右/料理のよいオーナー夫婦。下左/前夜のデザート、スイカとミントのシャーベット。そのほか「ウォーターグラス」や「シュー」など季節のデザートも豊富。下右/オープンキッチンを中心とした店。

de Culinaire-werkplaats

【カリナリー・ウエルクブラーツ】
 Fernis, Schalkwijk 10, 1054 EX Amsterdam
 電話: +31 (0)20 5484 8578
 www.culinairewerkplaats.nl
 コンセプチュアルな料理だけでなく、「フードデザイン」の考え方に基づく、セパレートドレストラン。オーナー夫婦は、いずれもデザイナー出身。今年、ベネチア国際展の最優秀賞を受賞した。

